



日本赤十字社 長期ビジョン

VISION
日赤150

目指す姿と長期戦略 ～創立150年に向けて～

変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦。

人間を救うのは、人間だ。

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

— CONTENTS —

- 「日本赤十字社 長期ビジョン」の全体像
- 日本赤十字社が取り組む社会課題
- 日本赤十字社が目指す姿
- 新たなステージへの行動指針
- 日本赤十字社の長期戦略
- 長期ビジョンの実現に向けた組織のあり方

「日本赤十字社 長期ビジョン」の全体像

社会課題

災害や紛争から人々が
守られる社会づくり

人々の健康・福祉を
支える地域づくり

互いを思いやり、助け合い、
尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

行動指針

- 被支援者の側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長期戦略

－ 事業戦略 －

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

－ 運動基盤強化戦略 －

会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

日本赤十字社が取り組む社会課題

ビジョン策定の前提となる赤十字の使命

基本原則

赤十字国際会議の決議

日本赤十字社法

ミッションステートメント

社会環境の変化

人口構造の変化
人口の偏在とインフラの老朽化
格差の拡大
気候変動
グローバル化
技術革新
行政・NPO等の動向

赤十字の使命

長期ビジョン

社会環境の変化

日赤への期待

日本赤十字社への期待

日赤に期待する活動
日赤に支援してほしい対象
日赤ボランティアに期待する活動
日赤に期待する今後の姿

日本赤十字社が今後10年間で重点的に取り組む社会課題の設定

災害や紛争から人々が守られる社会づくり



- 多発する自然災害や紛争、感染症による犠牲者支援
- 災害に強い地域づくり

人々の健康・福祉を支える地域づくり



- 少子高齢化等社会変化を背景とした地域課題の解決
- 超少子高齢社会における医療・福祉サービスの向上
- 人々の健康増進

互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり



- 多様な価値が共生する時代に、人道的な価値が理解され、共有され、共感される社会づくり

日本赤十字社が目指す姿

世界に広がる赤十字運動の パートナーの想いと力を結集

赤十字がもつネットワークを最大限に
発揮した事業展開を目指します。

新たな社会変化へのチャレンジ

これからの社会変化やニーズに目を向け、
新たな活動や変革にチャレンジ
することを目指します。

目指す姿

**国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字**

草の根からグローバルまで

国内から海外まで全社一丸となって
より強靱な社会の実現に貢献する
ことを目指します。

国際赤十字との協働により、 国内外の人道支援を牽引

人道的な国民意識や行動の推進母体となり、
人道支援活動の“要”
となることを目指します。

地域の医療・血液事業を 主導し、福祉を支える存在に

地域における医療・福祉分野等で
中核を担う存在になることを目指します。

新たなステージへの行動指針

効果的・効率的な事業推進

- 被支援者の側に立った想像力の発揮

- 「選択と集中」の徹底

- 赤十字ネットワークの活用

新たな
ステージへの
行動指針

イノベーション

- 先進技術の導入

- ビッグデータ等の活用

連携強化

- 事業間・施設間の連携

- 行政・関係団体、企業、
大学等との連携

日本赤十字社の長期戦略

— 事業戦略 —

戦略1 災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化

災害・紛争・感染症で失われるいのちを守り、その苦痛を限りなく軽減するための活動を推進し、災害に強い地域社会の実現を目指します。

戦略2 超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

地域の福祉・介護分野における社会活動や、医療事業、血液事業等を推進し、十分な医療・福祉サービスが提供される安全・安心な社会の実現を目指します。

戦略3 多様化が進む社会における人道の輪の拡大

すべての人々に人道の心が広く理解・共有され、互いを思いやり、いのちと尊厳を尊重する社会の実現を目指します。

— 運動基盤強化戦略 —

戦略1 会員の赤十字運動への参画促進

戦略2 奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

戦略3 国際赤十字との更なる協働

戦略 1

災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化

— 誰一人取り残さない救援を展開、災害に強い地域社会を —

1

国内事業と国際事業の融合による新たな活動の推進

- 国内事業の強みを生かした**新たな国際活動**にチャレンジ
- 災害時における国際赤十字からの支援の**スムーズな受援体制**の構築
- **国際的な人道対応の活動基準に準拠**した国内救護活動の展開

2

災害時に支援の届きにくい分野への貢献

- **避難所の運営協力、生活支援、障がい者・外国人支援**等
- 被災地の状況を**被災者の声や思い**として社会に広く発信
- 政治・治安情勢等で**介入困難な国・地域**への支援



戦略 1

災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化

— 誰一人取り残さない救援を展開、災害に強い地域社会を —

3

地域社会への防災・減災の知識・技術の普及推進

- 防災・減災の知識・技術を**全国の地域**へ、**若い世代**まで広く普及
- **ボランティアが中心**となった地域に根ざした事業を展開
- 日本赤十字社の防災・減災事業の**ブランド力向上**
- 海外においても**レジリエンス向上を目的とした支援**を展開

4

社会全体の災害対応能力の向上に向けた学術的・技術的な貢献

- 140年間の活動で培ってきた**学びや知識の体系的な整理・分析**
- 日赤が有する知識やデータを学会やシンポジウムを通じて**広く社会還元**



戦略2

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

— ボランティアが取り組む社会活動を、より多くの地域で —

医療・福祉・介護分野等における地域社会への貢献



1

地域の実情に応じた社会活動の推進

- 独居高齢者や外国人、貧困に苦しむ子どもなど、地域ごとに異なるニーズに対応し、**地域課題の解決**につながる活動を展開
- **奉仕団等ボランティアと職員が連携した**社会活動の推進

2

社会活動推進のための企業・団体との連携強化

- 企業・団体と日本赤十字社の**強みの融合**による新たな活動展開
- 地域課題の解決に向けた**企業・団体・行政等との積極的な連携**

戦略2

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

— ボランティアが取り組む社会活動を、より多くの地域で —

医療・福祉・介護分野等における地域社会への貢献

3 自助・互助のしくみが根付いた地域づくりへの貢献

- これからの**地域づくりの枠組みの中**での赤十字救急法等の普及
- 赤十字施設が地域の活性化の**新たな拠点**となる機能を発揮
- **ICTを活用した赤十字講習の受講の利便性向上**

4 社会福祉施設を通じた地域への福祉サービスの向上

- **奉仕団等ボランティア**の施設運営への**参画促進**
- 介護予防活動や子育て支援等の**地域貢献活動の推進**

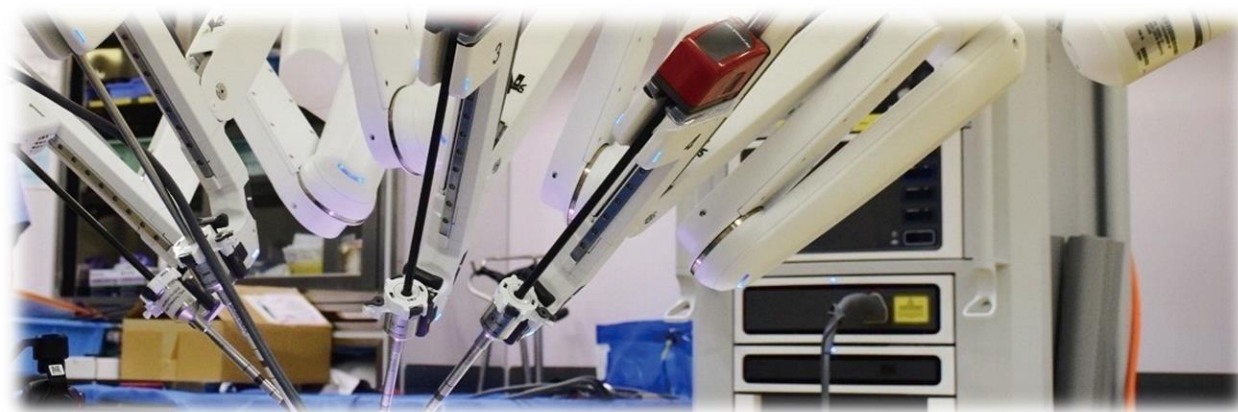


戦略2

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

— 地域の中核病院として超少子高齢社会における医療課題に取り組む —

日本最大級の病院グループとしての質の高い医療サービスの提供



1

高度先進医療の推進

- ロボティック医療等の遠隔医療技術を用いた医療の平準化
- 赤十字病院グループ全体での救急医療や移植医療の連携
- 赤十字の血液事業と医療事業の連携による再生医療への挑戦

戦略2 超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

— 地域の中核病院として超少子高齢社会における医療課題に取り組む —

日本最大級の病院グループとしての質の高い医療サービスの提供

2

地域医療への貢献

- 赤十字病院グループ全体での**医療救護体制の強化**
- 各医療スタッフの**専門性を生かした連携**による地域づくりへの貢献
- ICTを活用した地域全体での**医療情報ネットワークの構築**

3

広く社会に貢献できる質の高い看護師の養成

- 赤十字の看護を**発展・変革することの出来る**看護師の養成
- **国内外のあらゆるフィールドで活躍できる**看護師の養成



戦略2

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

— 更なる安全性・品質向上を追及、医療の発展、国民の健康増進に寄与 —

世界最高レベルの血液事業を通じた医療・健康増進への貢献



1

血液製剤の安全性・品質向上に向けた弛まぬ努力

- 血液製剤の使用状況等を把握できる**トレーサビリティ**の仕組みの構築
- より**高精度な検査技術**の導入
- 輸血を受ける方や医療機関が求める**新たな血液製剤の開発**

2

献血協力者への新たなアプローチ

- 献血者と血液センターの**双方向コミュニケーション**による効果的な協力依頼
- 献血に協力いただく**意義と社会貢献を実感**できる広報展開

戦略2

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

— 更なる安全性・品質向上を追及、医療の発展、国民の健康増進に寄与 —

世界最高レベルの血液事業を通じた医療・健康増進への貢献

3

新たな事業展開と持続可能な事業基盤の確立

- **ビッグデータ**等を活用した国民の**健康増進への貢献**
- ICT技術の活用による事業全体の**物流の再構築**

4

造血幹細胞事業の推進

- 移植にかかる関係者間で**情報がより適切に共有**される体制の構築

5

各国の血液事業の発展への貢献

- 積極的な**情報交換や経験交流**を行い、アジア地域の血液事業の発展に寄与



戦略3

多様化が進む社会における人道の輪の拡大

— 多様な価値観が共生し、「互いを尊重し、助け合う」社会へ —



1

豊かな心をもった青少年の育成強化

- これからの**教育現場のニーズ**に即した「青少年赤十字」活動の再編
- 「不登校」や「いじめ」等の**学校が抱える問題解決の一助**となる人道教育の展開
- **地域社会とのつながりを体感できる**新たな「青少年赤十字」活動の導入

戦略3

多様化が進む社会における人道の輪の拡大

— 多様な価値観が共生し、「互いを尊重し、助け合う」社会へ —

2

各事業の実践を通じた赤十字精神の普及推進

- **各事業**（災害救護、赤十字救急法等の講習、防災・減災活動、献血推進運動等）の**実践におけるコミュニケーション**を通じた普及活動の推進

3

様々な脅威から人々を守る「国際人道法」の更なる普及推進

- 核兵器廃絶等の具体例を交えた**国際人道法の理解促進**
- 関係省庁や自治体、他の人道支援機関等と連携した**社会全体への普及活動**



長期戦略 | 運動基盤強化戦略

戦略1 会員の赤十字運動への参画促進

— より多くの会員の積極的・継続的な支持、参画を得て、より活発な赤十字運動へ —

1

日本赤十字社最大の原動力である会員組織の拡充

- 病院や献血ルームなど、**地域住民とのつながり**を通じた会員募集
- Web広報やSNSなど、**時代のニーズに即した**新たな募集方法の推進

2

会員への定期的かつ積極的な情報提供の強化

- 会員とのコミュニケーションがとれる機会や場の積極的な設置
- 会員としての**定着**を推進し、中長期的な**支持・参画**が得られる仕組みの構築

3

将来に向けた若年層への対応強化

- 赤十字運動への参加のきっかけとなる**気軽に参加しやすいボランティア活動**など、若い世代の参加者の**裾野を拡げる**活動の強化



戦略2 奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

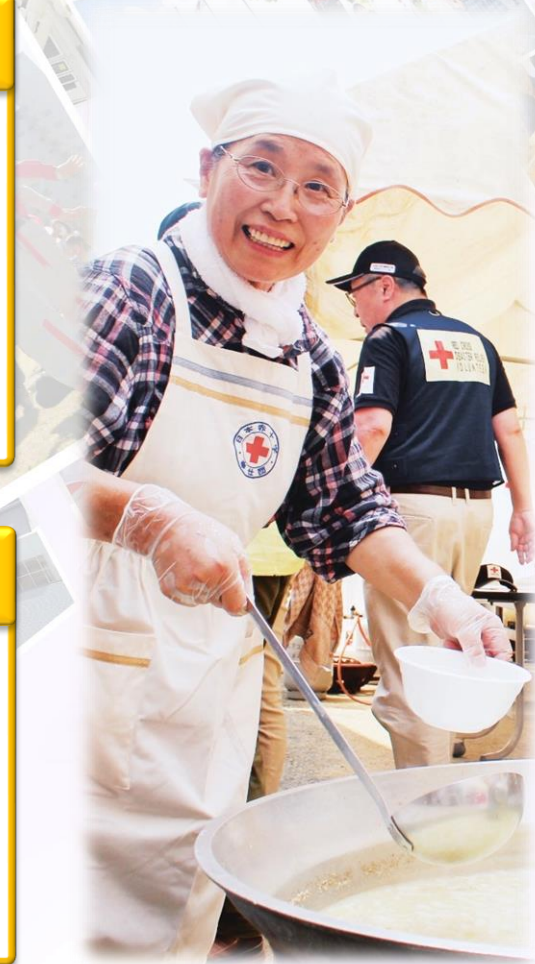
— より多様なボランティアが主体的に進める赤十字活動へ、活躍の場を拡大 —

1 地域課題の解決に向けたボランティア主体の活動強化

- 奉仕団等ボランティアの**主体的な社会活動**の推進
- 奉仕団等ボランティアと地域との繋がりが強い職員との**連携促進**
- **多様性のあるボランティア**が中心となって活動できる体制の構築
- よりよい活動に向けた**ボランティア人材と活動状況の把握・分析**

2 魅力ある活動の創出によるボランティアの活躍の場の拡大

- 新規ボランティアが**参加しやすい仕組み**の構築
- 社外のボランティア団体ネットワークとの**積極的な連携**
- **赤十字の強み**を生かした魅力あるボランティア活動の創出
- **ボランティアを支えるための基盤整備**



戦略3

国際赤十字との更なる協働

— 国際赤十字への更なる貢献とともに、国際赤十字の学びを生かした社の成長へ —

1

事業の実践を通じた国際赤十字運動への更なる貢献

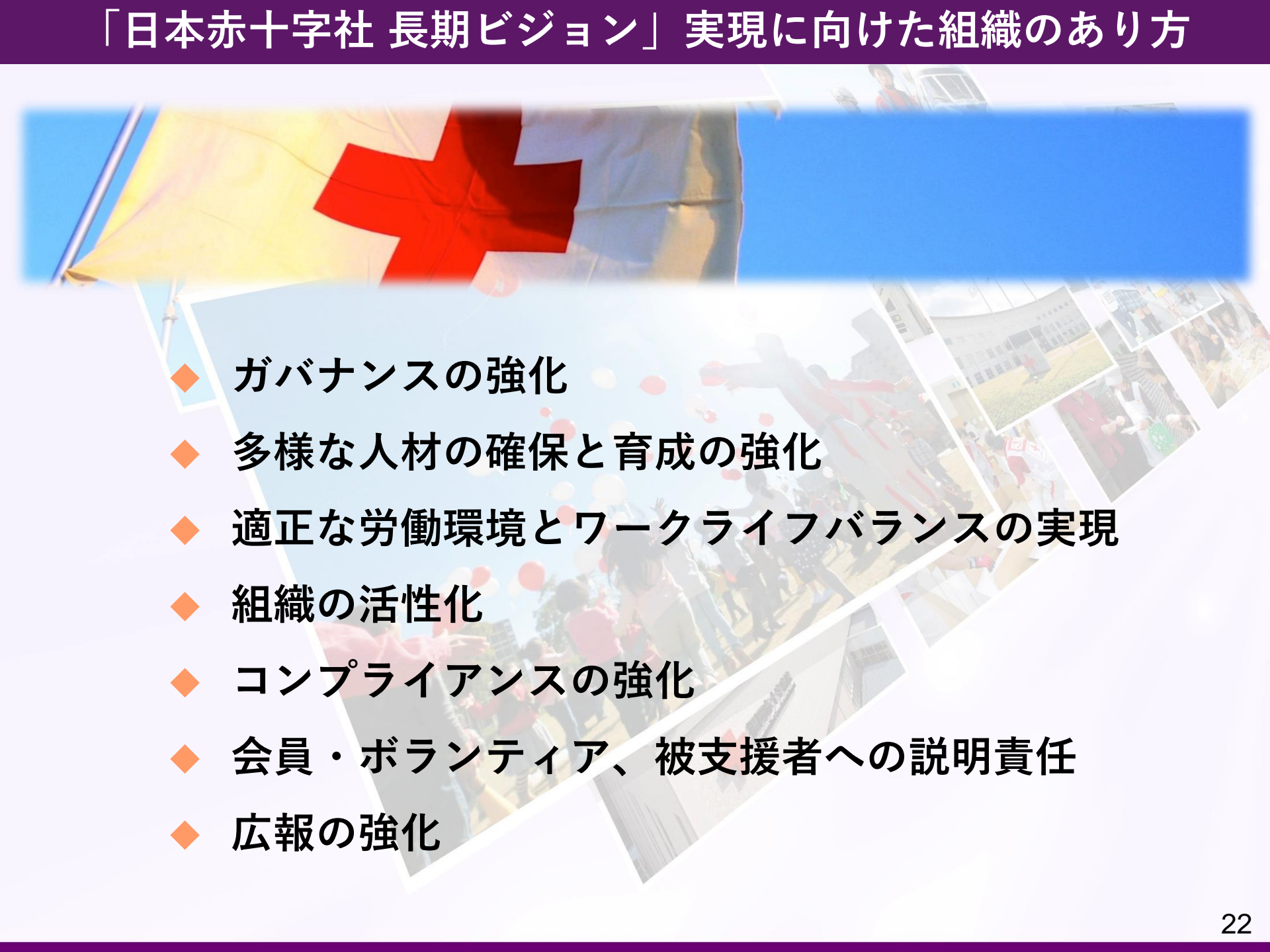
- 事業の**実践から得た気づきや学び**を**新たな価値や規範**として、国際赤十字へ**還元**
- **積極的かつ具体的な提言**を通じた**リーダーシップ**の発揮

2

国際赤十字の知見やノウハウの積極的導入

- 会員・ボランティアの活動支援体制、社資募集、広報、組織運営など、**強固な運動基盤を構築している他国赤十字社からの好事例の導入**



- 
- ◆ ガバナンスの強化
 - ◆ 多様な人材の確保と育成の強化
 - ◆ 適正な労働環境とワークライフバランスの実現
 - ◆ 組織の活性化
 - ◆ コンプライアンスの強化
 - ◆ 会員・ボランティア、被支援者への説明責任
 - ◆ 広報の強化

VISION
日赤150

人間を救うのは、人間だ。

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society